

かけがわ

第52号

平成27年11月1日

市議会 だより

おもな内容

CONTENTS

- | | |
|-----------------|--------|
| ● 決算概要 | 2 ページ |
| ● 議案の審議結果 | 5 ページ |
| ● 一般質問 | 6 ページ |
| ● 傍聴席／11月定例会の予定 | 12 ページ |



静岡県無形民俗文化財に指定されている八坂神社祇園祭(中地区)

平成26年度 決算概要

市税収入増 ~景気回復傾向~

■一般会計

| | |
|---------|--------------|
| 歳入決算額 | 446億 6,272万円 |
| 歳出決算額 | 431億 9,626万円 |
| 歳入歳出差引額 | 14億 6,646万円 |
| 実質収支 | 12億 6,512万円 |

■特別会計

| | |
|---------|--------------|
| 歳入決算額 | 254億 1,557万円 |
| 歳出決算額 | 242億 9,471万円 |
| 歳入歳出差引額 | 11億 2,086万円 |
| 実質収支 | 10億 9,335万円 |

※特別会計とは、国民健康保険、介護保険、下水道事業など13会計です。

■水道事業会計

| | | |
|-----------|---------|-------------|
| 収益的 収支 | 歳入決算額 | 30億 6,147万円 |
| | 歳出決算額 | 29億 6,116万円 |
| | 歳入歳出差引額 | 1億 31万円 |

※収益的支出とは、1年間の事業活動に関する水道料金や材料費、電気料金、職員の給与などの支出です。

歳入

- ① 市税収入が、前年度から3億7,650万円(1.8%)増加した。
- ② 地方消費税交付金が、前年度から2億5,090万円(21.1%)増加した。
- ③ 市債が、緊急地震・津波対策として実施した小中学校6校の校舎補強事業等が完了したことにより前年度から21億1,560万円(36.6%)減少した。

歳出

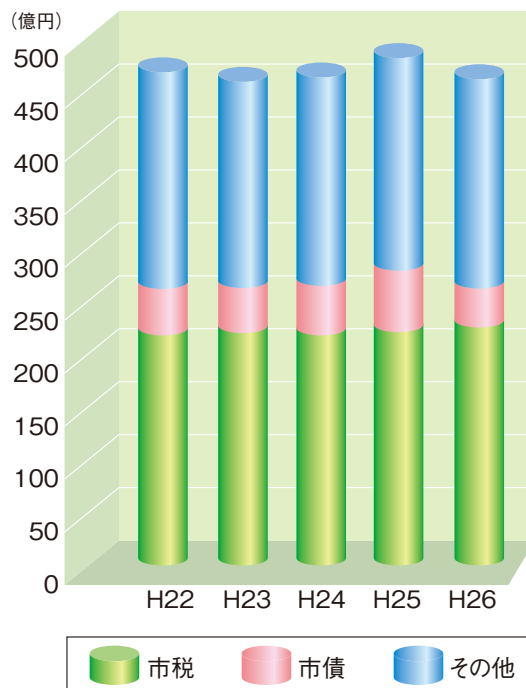
- ① 希望の丘整備
- ② 地震・津波対策の推進
- ③ 合併推進道路整備
- ④ 学校教育施設整備
- ⑤ ステンドグラス美術館開館準備

【財政状況指数】

| 区分 | 金額・指数 | 前年度対比 |
|------------|---------|---------|
| 財政力指数(単年度) | 0.912 | +0.001 |
| 経常収支比率 | 84.2 | +1.4 |
| 実質公債費比率 | 10.3 | -0.7 |
| 将来負担比率 | 94.2 | -8.5 |
| 地方債残高 | 471.4億円 | 9.8億円の減 |

前年度と比較して、ほとんどの項目で改善されていますが楽観できる状況ではありません。ちなみに、実質公債費比率は前年度比0.7ポイント減少しましたが県内ワースト6位。将来負担比率は前年度比8.5ポイント減少しましたが県内ワースト2位でした。

■一般会計決算(歳入)の推移



決算特別委員会委員長報告

平成26年度決算議案は、一般会計と特別会計・企業会計の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般会計決算特別委員会は、9月28日と29日の2日間、特別会計・企業会計決算特別委員会は、9月28日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決定しました。また、10月7日の本会議において、両特別委員会の審査経過及び審査結果が委員長より報告されました。

一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

委員長 山崎 恒男

- Q 防災資機材の整備費のうち、防災倉庫はどこに設置されたのか。
- A 福祉避難所に指定された「たまり～な」に設置した。
- Q 地域生涯学習センターも老朽化した施設である。協働のまちづくり推進のため、優先的に整備すべきではないか。
- A 優先課題の一つである。公共施設管理計画を策定する中で議論していきたい。
- Q 療育教室の利用者が増加している。状況を早期に把握し、対策を強化する必要がある。
- A 関係機関との連絡を密にして、子どもの進路に支障の無いように取り組んでいるが、さらに強化して取り組んでいく。
- Q 独居老人の増加により、成年後見人制度支援には、広域的支援センターの設立が必要ではないか。
- A 中東遠・志太榛原圏域での広域的なサポートセンター設立を進めていきたい。
- Q 三世同居支援補助の年度内完成要件について、再検討すべきではないか。
- A 建築期間を考慮して、対象年度の設定を十分配慮した制度とするよう検討する。
- Q 茶葉の低迷により茶園の耕作放棄地が増加しているが、どのような対策を講じていくのか。
- A 茶園の共同管理、共同摘採の推進や転換作物の奨励に努めていく。

特別会計・企業会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

委員長 山本 行男

- ◎国民健康保険特別会計
 - Q 医療費の抑制にジェネリック医薬品の促進通知を出している。普及率の目標値をどのように定めているのか。
 - A 通知は7月に1,440通発送した。現状では、ジェネリック医薬品の利用率は57%であり、まずは60%を目指す。最終的には、厚生労働省が掲げた80%にしたい。
- ◎介護保険特別会計
 - Q 在宅介護は家族の協力はもちろんだが、在宅医療をしっかりとサポートしてくれる医師の整備が必要だ。
 - A 医師の少ないことや開業医の先生の高齢化など難しい部分があるが、今後は訪問診療専門医などを誘致する議論も必要だと思う。
- ◎公共用地取得特別会計
 - Q 公共用地として使う目的で取得しても、その後の計画変更などで固定化資産になっている。整理していく必要があると思うが。
 - A 当初は必要と判断したが、今後は本当に必要なものだけを残し処分していく方向で整理していく。
- ◎水道事業会計決算特別会計
 - Q 今年度は会計制度の見直しにより黒字決算になった。これをどのように判断したらよいか。
 - A 旧基準にあてはめれば赤字となる。人口減や核家族化で給水収益が落ちている。関係機関等と連携を図り経営改善にむけ努力していく。

待機児童解消に向けて

平成27年度 9月一般会計補正予算の概要

補正額 9億3,367万円

補正後の予算額 460億8,098万円

補正の主な内容

① 保育所等整備費 9,927万円 追加・増額

乳幼児保育園(鳥居町72人増) 小規模保育園5園(本所15人・下西郷19人・桜木15人・宮脇19人・沖之須3人増) 企業内保育園(上土方工業団地19人増)

② 中東遠総合医療センター出資金 6億 1200万円 追加

袋井市と合わせて10億円の出資金を追加

③ 小笠PA緊急用開口部整備工事費 2,000万円 追加

東名高速道路から中東遠総合医療センターへのアクセスを迅速化

④ 介護施設整備事業費等補助金 7,890万円 追加

小規模多機能居宅介護事業所・認知症高齢者グループホームの整備

⑤ 土木施設単独災害復旧事業費 2,250万円 増額

台風11号等により被害を受けた道路・河川等の復旧費

⑥ 橋梁長寿命化修繕事業費 1,550万円 増額

梅橋の測量調査委託料他、14橋梁補修工事費

⑦ ふるさと納税推進経費増 2,670万円 増額

ふるさと納税の増額に伴う返礼品の増額とクレジット収納実施に伴う経費負担分

⑧ ステンドグラス美術館運営費 852万円 増額

駐車場等の整備

9月定例会における議案の審議結果一覧

| | 議 案 名 | 議 決 内 容 |
|------------------------------|---|------------------|
| 予 算 | 平成27年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について | 賛成多数可決 |
| | 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について | 全会一致可決 |
| | 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について | 全会一致可決 |
| | 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について | 全会一致可決 |
| 条 例 | 掛川市特定個人情報の特例を定める条例の制定について | 賛成多数可決 |
| | 掛川市税条例の一部改正について | 賛成多数可決 |
| | 掛川市地域生涯学習センター条例の一部改正について | 全会一致可決 |
| | 掛川市手数料条例の一部改正について | 賛成多数可決 |
| 一 般 | 生物循環パビリオン水処理設備改造工事請負契約の締結について | 全会一致可決 |
| | 字の区域の変更について(南西郷地区等) | 全会一致可決 |
| | 掛川市道路線の認定について | 全会一致可決 |
| | 掛川市道路線の変更について | 全会一致可決 |
| | 土地の取得について | 賛成多数可決 |
| | 市有地の処分について | 全会一致可決 |
| | 平成26年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 全会一致可決 全会一致同意 |
| 決 算 | 平成26年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について | 全会一致認定 |
| | 平成26年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛成多数認定 |
| | 平成26年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | 全会一致認定 |
| | 平成26年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | 全会一致認定 |
| | 平成26年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | 全会一致認定 |
| 平成26年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について | 全会一致認定 | |
| 平成26年度掛川市水道事業会計決算の認定について | 賛成多数認定 | |
| 報 告 | 健全化判断比率の報告について | 受 理 |
| | 掛川市簡易水道特別会計資金不足比率の報告について | 受 理 |
| | 掛川市公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について | 受 理 |
| | 掛川市農業集落排水事業特別会計資金不足比率の報告について | 受 理 |
| | 掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計資金不足比率の報告について | 受 理 |
| | 掛川市水道事業会計資金不足比率の報告について | 受 理 |

一般質問 Q&A



創世会 雪山敏行

小中一貫校の設立の考え方は

Q 義務教育学校の形態として「施設一体型」と「施設分離型」があるが、ストックマネジメントの視点から「施設一体型」は困難と考えている。「施設分離型」で、早期に設立すべきと考えるが所見を伺う。

学校の適正配置とあわせて十分に議論を重ねていく

A 施設一体型校舎は、学校施設単体と考えた場合、莫大な投資になるが、他の公共施設との複合化・多機能化も視野に入れた場合は、一体型の検討の余地はあると考える。子どもの健やかな育ちや多様性・創造性を育み、地域や世界で活躍できる人づくりを推進するために、最適な方法を選択していく必要があると考える。

地域創生総合戦略事業の重点化は

Q 総合戦略は、バランスのとれた戦略となっているが、重点を絞り従来の施策の延長線上ではなく、新たな発想による施策推進が必要と考えるが所見を伺う。

掛川流の協働力を活かした施策を展開

A 行政だけが取り組むのではなく「協働のまちづくり」の基本理念のもと、企業や市民、NPOなど、それぞれの強みを活かした連携により、既存の施策の枠を超えた取り組みを推進していかなければならないと考える。また、掛川市の魅力向上策を展開するとともに戦略的な移住・定住の促進などの新規施策を盛り込む形で検討を進めている。

【他の質問事項】

重要無形文化財保持者(人間国宝)認定と文化振興について



厳しさを増す茶業経営! 掛川市地域総合戦略の推進で再興を目指そう!



創世会 野口安男

若い世代に手厚い支援を

Q 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」施策を実施していくことの根本となる住居を持つことについて、一層支援していくことが大切である。若い世代の定住のために積極的にすすめるべきと思うが考えを伺う。

若者世代の移住・定住策を研究していく

A 若者の新築についての支援はないが、三世代同居支援事業や勤労者への支援として、勤労者住宅建設貸付を実施している。今後は、若者世代の利用者ニーズを把握しながら、空き家の活用や新築支援など、掛川ならではの支援策を検討していきたい。

全国学力・学習状況調査結果をさらに向上させるためには

Q 学力学習状況調査の好結果をもたらさせた授業改善は、どのようなものか。また、小学校三教科を向上させるための手立てを伺う。

教員の地道な研修と研さんを継続するよう指導

A 思考力や問題解決力などのかげがわ型スキルを意識した授業に取り組んだり、子どもの考える時間とまとめる時間を十分に確保した授業づくりに努めたり、学びの質を高めている。三教科向上のためにICT活用の研究や掛川市教育センターでの指導技術研修を推進し、教員の指導技術を高めていきたい。



先生に助言をもらうグループ学習

Q&A 一般質問



公明党かけがわ 山本行男

墓地建設計画は

Q 少子高齢化や核家族化など時代の流れの中で、お墓や埋葬方法に市民の意識変化が表れている。

現在進めている新墓地・共同墓地計画が当初より遅れているが、計画が引き続き長引くようであれば、共同墓地だけを分離して計画していく考えはあるか伺う。

さまざまな市民ニーズを踏まえつつ、できるだけ早く整備に努める

A 二十四年度の基本設計は予定通り完了し、用地測量については、新病院建設との関係で、二十五年度に実施した。実施設計を組む段階において、一般区画墓地や共同墓地など、さまざまなニーズに対応できるように、基本設計を踏まえた検討を行っている。用地等の課題はあるが、可能な限り早く進めていきたい。

ご当地ナンバー導入は

Q 磐田市などの自治体では、125CC以下のバイクなどに、ご当地ナンバーを導入している。全国的にはプレートのデザインを広く一般公募し、地域おこしの一つとしている。ご当地ナンバーの導入の考えはあるか伺う。

来年度の導入に向け準備していく

A 掛川市の場合、ご当地ナンバープレートの対象となる125CC以下の原動機付自転車などの登録車両は約八千台ある。全てのナンバープレートが入れ替わるには約十年間ほど必要と思われるが、地域創生のなかで地方の独自性が重要になっており、シティブロモーションの一環として掛川市をPRする有効な手段であると思われるため、来年度中の導入に向けて準備していきたい。



10月から交付をはじめた牧之原市のご当地ナンバープレート



創造みらい 栗原通泰

国民健康保険税の基礎算定項目の見直しは

Q 国民健康保険税の算定基礎となつている資産割を廃止し、所得割と均等割、そして平等割にする考えは。また平成三十年度に市の運営から県の運営となる予定であるが、当市としての対応方針を伺う。

近隣の状況を見ながら検討していく

A 資産割を廃止した場合、課税額を所得割や均等割等に転嫁することになると、中間所得層に負担がかたくなることも考えられる。平成三十年度以降に広域化の情勢や近隣の状況を見ながら、所得割・均等割・平等割の3方式の導入について検討していきたい。また、県の運営になつても医療費削減の取り組みに引き続き努めることが必要だと考える。

人間国宝大角幸枝さんを名誉市民に顕彰する考えは

Q 上西郷地区出身の大角幸枝さんが、このたび重要無形文化財保持者に推挙されたことから、当市として顕彰し榮譽を称えるため、名誉市民の称号を贈る考えはないか伺う。

新たな顕彰の形を創設

A 大角さんに、今回の榮譽を称える機会を設けたい旨と作品展を開催させていただきたい旨をお願いした。正式な意向はまだお聞きしていないが、掛川市としては「名誉市民」の称号を贈ることや、例えば「市民榮譽賞」といった今まで掛川市にはなかった新たな顕彰の形を創設して、大角さんの榮譽を称えることを考えている。

【他の質問事項】

選挙の投票率向上について



大角さんの作品「鍛銀雲文急須」(日本工芸会HPより)

一般質問 Q&A



納涼まつりで展示された96式装輪装甲車



共産党掛川市議団 渡邊久次

「納涼まつり」に自衛隊車両を展示した目的は

Q 展示された「96式装輪装甲車」は、地震や洪水のような自然災害救助のための車両ではなく、海外派遣用の戦闘車両である。どのような目的でそれを展示したのか伺う。

災害救助活動に関心をもってもらう目的で展示

A 一般災害時には御殿場市の自衛隊駐屯地へ派遣を要請することになっており、今回の展示車両はそこをお願いしたものである。自衛隊の災害救助活動について市民に関心を持ってもらうとともに、掛川市と自衛隊の良好な関係を保つことなどを目的に平成二十年度から展示している。

紙類の行政回収廃止による資源化意識の後退はないか

Q 可燃ごみの約四割が紙類となっている。新聞紙や段ボール、雑誌等の古紙類の行政回収を止めたことで、分別・資源化が後退したとは考えないのか伺う。

古紙を資源化しようという市民・企業の意識は高い

A 決して分別、資源化が後退したとは考えていない。行政回収から民間ベースでの資源化により、大きな経費削減もでき、行財政改革上も非常に効果があった。市内協賛企業との協定により、回収された古紙の売上金を市の環境基金に積み立て、太陽光発電施設等を設置するなど環境教育に資する目的としても、積極的な回収が行われており、市民・企業の意識は、より前進しているものと考ええる。

【他の質問事項】
介護保険の「補足給付」に資産要件の導入について



創造みらい 堀内 武治

平和教育の充実を求める

Q 集団的自衛権行使関連法が多くの国民の反対の中で成立した。国民として、地方自治体としていまでも大切なことは、絶対平和、絶対不戦の決意を改めて確認し、若者や子どもたちに平和教育の充実を図ることである。

掛川市は教育大綱の中に平和教育の充実を位置づけるとともに、小・中学生に沖縄・広島に代表派遣する制度を確立すべきである。

教育大綱に平和教育の充実を盛り込んでいく

A 教育大綱は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針を示すものであり、総合教育会議において策定に向け協議を進めているところである。恒久平和は人類共通の願いであり、平和教育の推進は大切なことであると考ええる。

【他の質問事項】
貧困問題と児童虐待について
小中学生の広島・沖縄への代表派遣制度は、これからの時代を担う子どもたちに、平和の尊さを実感できる貴重な体験になると考え、来年度、掛川市としては、中学生の広島平和記念式典への派遣について、事業化をして取り組んでいく。なお、沖縄については検討する。



中央図書館で開催された「非核平和都市宣言」アクション平和展

Q&A 一般質問



多職種連携ワンストップサービス
今年4月開所の中部ふくしあ

医療・保健・福祉・介護 日本一を目指す取り組みは

Q 誰もが住み慣れた地域で安心して、最期まで生活ができるよう一体的に支援する地域包括ケアシステム「ふくしあ」が、多様化する市民ニーズに対応するためには、さらなる機能充実が必要ではないか伺う。



無党派の会 窪野 愛子

A 小笠医師会や中東遠総合医療センターとの連絡会をはじめ、関係機関と連携して対応しているが、今後もさらに多職種連携を強化していく。また、「ふくしあガイドブック」や「ふくしあマップ」を作成し、介護・医療・福祉面の情報提供に努めていく。

学童期から健康寿命延伸 への知識と意識の啓発を

Q 社会環境や家庭環境の変化は、子どもたちの健やかな成長をおびやかす、ゲームに熱中し体を動かさない子どもは将来要介護の懸念もある。自分の体を大切にすることを教育が必要ではないか伺う。

A 児童・生徒の段階から生涯を通じて自らの心身の健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成することは重要であると認識している。学校では、健康な生活と疾病の予防について理解を深める指導を行ったり、養護教諭の保健指導や栄養教諭による食育の推進も行ったしている。また、これらの指導の効果を高めるためには、家庭の協力も不可欠であると考える。

食事や運動の大切さ、生活習慣病の予防などを指導



創世会 小沼 秀朗

将来人口目標値二〇四〇 年十二万人への達成策は

Q 将来発展都市掛川第2次総合計画となるには、第二子出産支援策を柱に、市民の皆さまの高い意識と企業誘致や希望の丘での雇用など、産官民で総合的に人口増へ挑むべきではないか伺う。

A 人口十二万人の目標は、二十五年後への期待と願いを込めた数値である。目標達成に向け、就職期・結婚期・住宅需要期における社会移動を流入超過とすること。さらには、合計特殊出生率を改善させることが必要と考える。
重点施策や事業について指標を設定し、毎年、達成度合いを精査していく。

魅力的な雇用場の確保や 住宅環境の整備をしていく

お茶の消費拡大に向けた 施策は

Q 基幹産業であるお茶の消費につながる施策として、酒類のお茶割りの全国発信、茶園の航空映像や音楽にのせ世界へPR、シンボルとなるお茶タワー建設、街なかに新名所茶町の新設など画期的な仕掛けはあるのか。

「掛川茶ひろめ隊」の活動や 出前講座を実施

A お茶割りも楽しみ方の一つとしてティーバッグやスティックティーを活用した飲み方や料理への活用を提案していく。映像や音楽もPR手段の一つとして検討したい。お茶タワーについては、景観面や費用面で実施は困難と考える。市街地の有効活用は、茶業振興計画の見直しの中で、検討していきたい。

【他の質問事項】

企業誘致の費用対効果について、希望の丘について将来を見据えた道路整備計画について



栗ヶ岳にある茶文字の案内看板

一般質問 Q&A



創世会 二村 禮一

子育て環境整備プロジェクトの取り組みは

Q 大東地域の幼保一元化の推進に向け施設の再編整備計画をどのように進めていくか。

今年度から具体的な再編方法を検討していく

A 保護者、自治区関係者、保育事業に従事する方などから構成する「(仮称)大東大須賀区域認定子ども園化推進委員会」を設置し、枠組みやスケジュールなど総合的に検討していく。再編は地域にとっても重要な問題であるため、地域のご理解をいただきながら、保護者や保育事業者などと連携し、規模や設置場所などについて計画を立て、再編を進めていきたい。

小中一貫教育の推進の目的は

Q 児童・生徒のさらなる学習意欲の向上に向けて、確かな学力の定着を図るために、継続性が明確な小中一貫カリキュラムに基づく授業改善にどのように取り組んでいくのか。

継続的な学習意欲の向上や地域の実情に応じた教育の推進

A 掛川市に適した一貫カリキュラムを研究していくことが大切であり、すでに実施している掛川市における小学校外国語活動の規準カリキュラムである「かがわスタンダード」の活用や桜が丘中学校区における地域の特色を活かした道德のカリキュラムなどを参考にしながら、今後、グローバル社会を生き抜くために必要な思考力、問題解決力等の「かがわ型スキル」が身につくカリキュラムを研究していきたい。



大坂保育園



共産党掛川市議団 鷲山喜久

遺族会会員の減少対策は

Q 今年は戦後七十年、国会で安保法制が可決され、平和日本が根本から大きく変わるうとして激動の情勢である。忠魂碑には、二千九百三十一柱がまつられている。今日平和を願う遺族会の果たす役割は大きい。しかし、会員数は十年間で三百十八人が減つて現在千七百二十人。役員のみなさんは困っている。市として会員の減少の原因や、増やすための支援や援助について伺う。

賛助会員を募って会を支えていく考え方もある

A 減少原因は、遺族の高齢化が進み、特に戦没者の兄弟姉妹の方々が高齢化した場合、戦没者の方を直接知らない甥や姪の方々への継承が難しいことである。日清・日露戦争の遺族の方々においては、ひ孫の代になつており、ひ孫の方も高齢化して遺族会活動が困難な状態で、さらに、次の世

代へ継承するよりも自分の代で終わりにしたいと考える方が増えていると聞いている。

会員減少の歯止めに向け、静岡県遺族会では、二十七年中に孫ひ孫などによる青年部の組織化を目指しており、掛川市遺族会においても、県遺族会と連携して、戦没者遺族会員の後継者の届出活動を実施している。掛川市としても後継者の育成を支援していきたいと考えている。

【他の質問事項】
太陽光発電設備等について、土砂災害危険箇所について



富士見台霊園にある忠魂碑

地域創生に向け活発な議論!

「掛川市地域創生総合戦略(たたき台)」が当局から示された。議会では9月3日に総務委員会協議会、環境産業委員会協議会、9月9日に文教厚生委員会協議会を開催し、掛川市地域創生総合戦略について活発な議論が交わされた。

【概要(抜粋)】

重点施策 1 掛川への新しいひとの動きをつくる

「事業例」 ①かけがわ茶エンナーレ(茶と芸術の結びつき) ②広域・地域間公共交通と大型商業施設の集積
③観光客誘客の促進 ④シティプロモーション戦略の策定 ほか

重点施策 2 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする

「事業例」 ①かけがわ生涯ワーキングシステムの構築 ②新規起業家に対する支援
③内陸フロンティアプロジェクトの推進 ④掛川の農の海外販路開拓 ほか

重点施策 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「事業例」 ①放課後等教育支援かけがわモデル推進事業 ②子育て世代の居住環境支援
③子育て世代の経済的負担の軽減 ④待機児童解消対策事業 ほか

重点施策 4 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る

「事業例」 ①「掛川モデル」海岸防災林事業 ②バイオマス産業都市の構築
③健康増進ビジネスモデルの研究 ④公共施設マネジメントの推進 ほか

常任委員会協議会での主な意見・提言(要約)

- 人口減少問題を抱え、都市間競争に拍車がかかっているが、中東遠地域の発展を視野に入れた戦略も必要ではないか。
- サブカルチャーも人の流れをつくる視点として必要な戦略ではないか。
- 新しい住宅地確保施策を戦略に盛り込む必要があるのではないか。
- 移住・定住対策として、古くなった住宅団地の再整備も有効な施策ではないか。
- 市内企業担当者と大学生が直接情報交換を行い掛川に就職する施策の充実が必要。
- 労働力の確保対策として女性の活躍が必要である。
- 多様な農業を展開すべきではないか。
- 大学誘致や研究機関誘致に本腰をいれることが必要。
- シティプロモーションはメディア活用が必要だが、外部エージェントの協力が必要。
- 農業従事者の高齢化が進み荒廃農地が見られる。掛川独自の農業対策が必要。
- 少子化対策は、行政が全責任を負うとの姿勢が必要。

以上のように、人口減少対策を念頭においた議論が活発に行われた。今後も議会として戦略策定はもとより、事業計画樹立にも積極的に提言活動を行う。

聞こう語ろうまちのこと 議会報告会が始まります

報告テーマ

- 1 人口減少対策の提言について
- 2 (仮)かけがわ健康長寿基本条例への取り組み
- 3 若者に魅力ある掛川市

掛川市議会では、市民の皆さまに議会活動や掛川市の重要な課題について知っていただくとともに、ご意見や提言などをうかがうため、議会報告会を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

右記の日程表をご覧いただき、都合のよい会場にご参加ください。

事前の申し込みは必要ありません。

| 開催日 | 地域 | 会場 |
|------------|---------|-----------------|
| 11月 4日(水) | 城東中学校区 | 大東北公民館 |
| 11月 5日(木) | 原野谷中学校区 | 原谷地域生涯学習センター |
| | 大須賀中学校区 | 大須賀支所2階市民交流センター |
| 11月 6日(金) | 大浜中学校区 | 大東支所3階市民交流センター |
| 11月 10日(火) | 北中学校区 | 初馬会館 |
| | 西中学校区 | 市役所4階会議室 |
| 11月 11日(水) | 桜が丘中学校区 | 桜木ホール |
| 11月 12日(木) | 東中学校区 | 南郷地域生涯学習センター |
| 11月 13日(金) | 栄川中学校区 | 栄川中学校多目的ホール |

※開催時間は、全会場午後7時からです。

議会日誌



[7月]

- 21日 ○市議会全員協議会
○議員懇談会
○第2回地域医療基本条例制定特別委員会
- 22日 ~23日
○議会だより編集特別委員会行政視察
(京都府亀岡市、滋賀県米原市)
- 27日 ○東遠議員交流フォーラム
- 30日 ~31日
○議員東京研修

[8月]

- 5日 ○東遠地区聖苑組合議会
○東遠学園組合議会
- 7日 ○東遠広域施設組合議会
- 14日 ○掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 17日 ○県市町議会議員研修会
(静岡市)
- 18日 ○小笠老人ホーム施設組合議会
○東遠工業用水道企業団議会全員協議会
○東遠工業用水道企業団議会
- 21日 ○市議会全員協議会
○議員懇談会
○第3回地域医療基本条例制定特別委員会
- 24日 ○掛川市・袋井市病院企業団議会
- 25日 ○第2回地場産業振興特別委員会
- 27日 ○議会運営委員会
○議員懇談会
- 28日 ○第1回掛川駅前西街区再開発検討特別委員会

[9月]

- 3日~ 10/7日
○掛川市議会第4回(9月)定例会
- 3日 ○総務委員会協議会
○環境産業委員会協議会
- 9日 ○文教厚生委員会協議会
○議会だより編集特別委員会
- 16日 ○議会運営委員会
- 24日 ○第4回地域医療基本条例制定特別委員会
○議員懇談会
○議会報告会運営会議
- 25日 ○第2回掛川駅前西街区再開発検討特別委員会

[10月]

- 2日 ○議会だより編集特別委員会
- 5日 ○議会報告会運営会議
- 7日 ○市議会全員協議会
- 8日 ○第3回掛川駅前西街区再開発検討特別委員会
- 9日 ○西部地区市議会議長協議会
○議会だより編集特別委員会

11月定例会の予定

[11月]

- 26日 本会議
(議案の提案説明)

[12月]

- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 16日 常任委員会協議会
- 24日 本会議
(委員長報告、質疑、討論、採決)

傍聴席

私が掛川市議会の傍聴に足を運ぶようになって4年目。毎回思うことであるが、議場に入る前に、全ての議員の方々が気持よく「おはようございます」とあいさつをいただけるのがすがすがしい。そしてそこから始まるさまざまな議論に気持ち良く耳を傾けている。

議会では、それに影響を受ける人々の多少や、レベルの高低などにかかわらず、市民・生活者の目線で、より良い街づくりに取り組んでおられる議員の方々の質問に対し、市長が真摯に答弁をし

ておられる。おそらく市政には百点満点の答えはないのであろうが、それに近づこうと全員が必死にがんばっている。

「政治に関心がない」と自ら思い込んでおられる一般の市民の方々にもぜひ一度足を運んでいただき、自分が住んでいる街がどのようか未来に向けて進んでいるかを肌で感じていただきたいと思う。

自分たちが自律した参画をすることで、自分たちの街がもっともと良い街になるのではないかと、自戒の念を込めて思うところである。

西崎 秋芳(上内田)

編集後記

本年度より議会だより編集特別委員を務めさせていただくことになりました。この委員会は市民のみならずと議会を繋ぐ、議会の顔であると感じています。今年度も、議会報告会を開催し議員自らが直接情報発信するとともに、みなさまの意見を伺いにまいります。市内全戸に配布されますこの議会だよりこそが情報発信の原点だと考えています。今後もわかりやすく、市民のみならず親しんでいただけるような誌面づくりに取り組んでいきたいと思っております。

議会だより
編集特別委員会
副委員長 大場雄三



※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。